

ご挨拶～防災まちづくりの取組にあたって～

朱二学区の皆さん こんにちは、日頃は朱二自主防災活動に深いご理解とご支援を賜り誠に有り難うございます。さて、朱二学区自主防災会では、中京消防署と共に”グラッと感じたときすぐ行動”でおなじみの朱二学区防災計画書、又、区役所防災担当と共に”集合場所から朱二避難所への移動”の避難所運営マニュアル等々に取り組んでいますが、今回都市企画部都市づくり推進課との連携のもとで”防災まちあるき”を実施したいと思います。（詳細はこのチラシ「朱二防災まちづくりニュース」を参考に）地域の実情や皆様からの提案をもとに、地震や火災に強い町づくりをめざし、できる限り被害は最小に、災害から身を守るための防災マップを作成したいと思います。

この”防災まちあるき”を実施するにあたり、地域の皆様の、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

（朱雀第二学区自主防災会会長 北川 惣太郎）

◆ “防災まちあるき” を実施します！

朱雀第二学区は、中京区北西部に位置し、京都アスニーなどの文化施設も立地するなど、便利で暮らしやすい地域です。地域には寺院や古くからの町並み、路地などが残り、京都らしい歴史的な風情を醸し出しています。

一方で、木造家屋が多く密集するとともに、行き止まりや狭い幅の路地が多く、地震時等には、建物の倒壊や火災が生じて、大きな被害を受ける恐れがあります。

このような状況を改善し、安心安全に住み続けられる災害に強いまちの実現に向けて、朱雀第二学区が「優先的に防災まちづくりを進める地区」に選ばれたことから、地域と行政が一体となった防災まちづくりを進めることとしています。

この度、防災まちづくりの取組の第一歩として、右記のとおり“防災まちあるき”を実施します。

路地の幅員や避難経路の有無など、地域の問題点や改善点について、実際に現地を見て確認します。近くにお住まいの方、防災に関心のある方もぜひご参加ください。

また、路地にお住まいの方にも、お話を聞かせていただきたいと思いますので、その際にはご協力をお願いします。

開催日時：平成25年 **12月7日（土）**

午前 **9時** から 12時まで

（小雨決行、雨天の場合 **12月8日** に延期）

集合場所：**朱二自治会館 1階**

あるく場所：

- 1班 内野町・中町北部・西町一部・西町二部
- 2班 東町・東町東部・東中町・中町東部・中町中部
- 3班 西町三部・西町中部・西町西部・松下町南部・松下町北部
- 4班 松下町西部・広畑町北部・広畑町南部・車坂町北部・左馬寮町北部

※5・6班の町内は1月末～2月頃に実施する予定です。

～自主防災会からのお知らせ～

朱雀第二学区自主防災会では、この度、**年末防火巡回広報**を実施いたします。

日時：**平成25年12月27日（金）**

午後7時30分 巡回広報説明・班分け

午後8時過ぎ 中京消防署幹部による激励

午後8時15分 学区内巡回広報

参加者：参加町内自主防災部長各位

（参加町内）

2班 東町・東町東部・東中町・中町東部・中町中部

4班 松下町西部・広畑町北部・広畑町南部・車坂町北部・左馬寮町北部

6班 両町東部・両町上部・鹿垣町東部・鹿垣町西部・鹿垣町北部・上平町・イニシア

「防災まちづくり」とは？

「防災まちづくり」は地震や火災に強いまちをつくるための住民と行政の協働の取組です。特に、いえやみちの安全性を高め、まち全体の安全性の向上につなげることに主眼を置いています。

これから、朱雀第二学区で一緒になって取り組めることを具体的に探っていきます。

例えば

地震で古い木造家屋などが壊れないか心配



★建物の耐震性をチェックし、必要ならば補強しておくことが大切



阪神淡路大震災

行き止まりの袋路で逃げ遅れないか心配



★行き止まり部分に扉を付けたり、袋路入口などの耐震性を高めることが大切



万一火災になったら避難や防火活動が間に合うのか心配



★避難ルートの確認と日頃の適正な管理が大切
★初期消火の体制や消火栓など防火の備えを一層強化することが大切



阪神淡路大震災

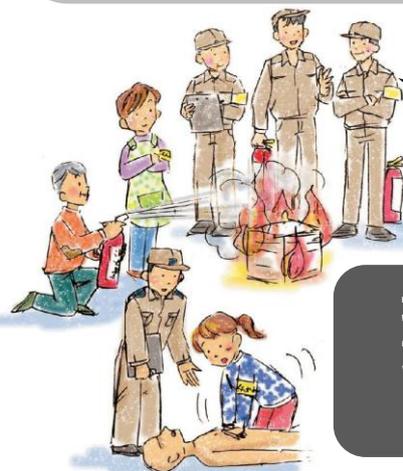


万一の際に、路地に置かれたものが倒れ、路地の通行を妨げる恐れがあります。

建て替えたいが、敷地が面する道や通路が狭いと難しいらしい



★建替えしやすいルールづくりを市と一緒に隣近所で考えましょう



地域の皆さんで
取り組むことが
大切です